

## 病院に行くと殺される！

最近、亀さんのところに色々な相談が舞い込むようになった。若者からは仕事関係の相談、福島原発事故の実態を知った友人・知人からは、内部被曝の対策についての相談、最近に至っては、飯山一郎さんが中国で展開している、乳酸菌事業が話題になってきたためか、香港で四半世紀にわたり貿易商として活躍している、亀さんの高校時代の友人O君について、数日前に掲示板「放知技」に書いたところ、数名から中国についての相談メールが届いている。また、深刻な命に関する相談も届くようになった。たとえば、ガン等の病氣苦に関する相談、新自由主義がもたらした生活苦に関する相談といった塩梅である。

### ■日本は間もなく滅ぶ

最初に、未だに多くの人たちが気づいていない、あるいは気づいていても、敢えて目を反らそうとしている、福島原発事故の実態について、以下の記事を熟読していただきたい。福島原発事故以来5年が経過し、今までに内部被曝について、何等対策も取らなかった人たちは、老若男女を問わず、つまり、あなたの連れ合い、子どもたち、孫たち全員が、ほぼ時期を同じくして死を迎えるという冷酷な現実が、容易に予想できる内容の記事となっている。

#### ◆[2015/05/09 \(土\) 地下で沸騰する核燃料に触れた水蒸気](#)

むろん、上記の記事内容について、疑問を感じたり、信じなかつたりしたとしても、それはそれで読者の自由だ。ただ、最悪の事態を常に想定して、それなりの対策を講じて生きていくことの大切さだけは強調しておこう。なお、上記の記事を読んで事の深刻さに気づき、慌てて今から対策を講じたとしても、残念ながら最早手遅れに近い。なぜなら、過去5年間にわたり、致死量のホットパーティクルを、日本列島の住民全員が、大気を通して大量に吸引し、食物を通して大量に摂取してきたのだから…。

### ■病院へ行くと殺される

「■日本は間もなく滅ぶ」は、日本列島に住んでいる、不特定多数の人たちを対象にした話だったが、以下は個人レベルの話になる。脳内出血等で倒れ、ICU（集中治療室）に緊急搬送された場合はやむを得ないとして、そうではなくて、ちょっとした風邪でいどで病院などに行くべきではない。その理由として、人体には自然治癒力が備わっているからなのだ。特に、内部被曝の恐ろしさに気づき、一日一食や乳酸菌ヨーグルトの摂取などにより、免疫力を高めるための対策を講じてきた人たちは、対策を講じる前に比べて、むしろ健康体になっているのに気づくはずだ。

亀さんの場合、福島原発事故以降、年に一回の無料健康診断を受け、年に二回ほど歯科医

に行っているだけだ。あと、一度だけ眼科医に行ったこともある。無料健康診断だが、こんなもの本当は受ける必要はないのだが、病院の雰囲気や通院している人たちを観察することで、年を追う毎の病院の変化を確認したいので受けているのに過ぎない。

さて、今回の記事で最も大切なことを書こう。なんらかの事情で病院に行ってガンを宣言されたとしても、**絶対に、抗がん剤だの、X線だの、手術だのといったものは、受けるべきではない**ということ。一度受けてしまうと、自ら死を選んだのに等しくなる。その意味で、以下の記事は必読であり、納得のいくまで繰り返し読んで欲しい。

**人間は癌では死なない。癌の治療で死ぬ。**

ところで、上記の記事には「武田鉄矢が海援隊・中牟田俊男の食道がんを公表」とある。実は食道ガンの場合、タバコとか酒と食道ガンとは、あまり関係はない。注意して周囲を見渡せば、タバコを吸っているのに、酒を毎日呑んでいるのに、百歳を超えてもピンピンしている長寿者が多いのに気づくはずだ。その代表例が泉重千代さんだろう。



泉 重千代 (いずみ しげちよ、1865年8月20日－1986年2月21日)

繰り返す。助かりたいのなら、長生きしたいのなら、病院などに行くべきではない。手術・放射線・抗癌剤のいずれかを、無理矢理受けさせられ、やがて身体もボロボロとなって、後は死を待つのみということになりかねないからだ。